

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	CLT 構造設計資料作成小委員会	主 査 名：安村 基 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>C L T を用いた構造要素の力学特性に関する基礎資料を収集し、構造設計に必要な基礎資料を整備することを目的とする。</p> <p>初年度：C L T の材料特性、壁・床パネルの力学特性、接合部の力学特性、諸外国における設計法に関する資料の収集。</p> <p>2 年度：初年度の継続。床パネル、壁パネルの設計法の検討。</p> <p>3 年度：2 年度の継続。鉛直構面および水平構面のモデル化と設計法の検討。</p> <p>4 年度：C L T 構造における各部構造の設計に必要な資料の整備。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：安村基 (静岡大学)</p> <p>幹事：榎本敬大 (建築研究所)、三宅辰哉 (日本システム設計)</p> <p>委員：青木謙治 (東京大学)、荒木康弘 (建築研究所)、五十田博 (京都大学)、岡部実 (ベターリビング)、河合直人 (工学院大学)、木林長仁 (日本建築センター)、小林研治 (静岡大学)、鈴木圭 (木構造振興)、鳥羽展彰 (銘建工業)、中川貴文 (国土技術政策総合研究所)、宮武敦 (森林総合研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. CLT パネル工法における構造各部の設計の基礎となる資料を収集し、2018 年開催の PD に向けた資料の整備の方向を確認した。これにもとづき、2018 年度に WG を開催し、資料のとりまとめを行う。活動方針転換のため、当初の目標を変更せざるを得なかった。</p>

委員会活動の問題点
・課題

1. 2016年度に公布された CLT パネル工法に関する国交省告示および外部機関におけるマニュアル改定予定との調整が必要となり、成果のとりまとめの方針の再検討が必要となった。その結果、2018年開催の PD に向けて、学会としての資料のとりまとめを行うことが確認された。